

# ◎ 定期予防接種カレンダー

● 各予防接種の詳細については、対象者に配布される資料をご覧ください。  
(法令等の改正により、内容が変わる場合があります。)

令和6年4月改正

ワクチン名	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6~8ヶ月	9~11ヶ月	12ヶ月 (1歳)	15ヶ月	18ヶ月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13~16歳	
小児用肺炎球菌 【不活化】	① ② ③						④															
	3回(27日以上の間隔)						4回目は生後12ヶ月~15ヶ月の間															
5種混合 Hib・ジフテリア 百日咳・破傷風 ポリオ(急性灰白髄炎) 【不活化】	① ② ③						④											①				
	1期初回:生後2ヶ月~1歳の間に標準的には27日~56日間隔で3回 ※接種開始年齢が7月以上になっても接種回数は減らさない。						1期追加:3回目終了後6月から18月までの間隔を置いて1回										2期:11歳~12歳に二種混合を1回接種 小学6年生の時が望ましい。					
BCG 【生】					①																	
	生後5ヶ月~8ヶ月未満が望ましい						生後12ヶ月未満までに1回															
MR(麻疹・風疹) 【生】							①					②										
							1期:1歳になったら早めに1回				2期:小学校に入学する前の1年間に1回											
水痘(水ぼうそう) 【生】							①			②												
							R															
日本脳炎 ※1 【不活化】													①②③				④					
													1期初回:3歳時に標準的には6日~28日間隔で2回 1期追加:2回目終了後1年の間隔を置いて1回			2期:9歳~12歳で1回						
B型肝炎(HBV) 【不活化】	①	②				③																
	2回(27日以上の間隔)		1回目終了後、139日以上の間隔で1回			生後12ヶ月未満までに3回																
子宮頸がん 予防ワクチン 【不活化】																				①②③		
																				2回目:1回目接種日より1~2ヶ月後 3回目:1回目接種日より6ヶ月後		
ロタウイルス 【生】 (ロタリックス)1価  (ロタテック)5価	1回目はどちらも生後6週から(生後14週6日までにを行う)																					
	①	②																				
	2回目(4週間以上の間隔で生後24週までに完了)																					
	①	②	③																			
	2回、3回目(4週間以上の間隔で生後32週までに完了)																					



- は公費負担で接種できる期間の中で、特に望ましい接種期間です。できるだけこの期間で受けて下さい。
  - は公費負担で接種できる期間です。この期間を過ぎて接種した場合は自己負担となります。
  - ①、②などの数字は接種する時期の例です。スケジュール作りの参考にしてください。
- ※1 日本脳炎は、特例措置として平成7年4月2日生まれ~平成19年4月1日生まれまでの方は20歳未満のみ、未接種分を公費負担で受けることができます

